

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

冬休みに、アキラはお父さんといっしょに町の「和紙づくり体験」に行くことになった。会場に入ると、大きな水そうと木のわくが並んでいた。

案内してくれた職人さんは、

「ここでは昔からの方法で和紙をつくっています」と話し始めた。アキラは、紙は工場で作るものだと思っていたので、おどろいた。

まず、木のわくを水そうに入れ、白いどろのような原料をすくいあげる。職人さんは

「この動きを何度もくり返すと、紙のもとが均(きん)一になるんだよ」

と教えてくれた。アキラもやってみたが、力を入れすぎて水がはねてしまい、袖がぬれてしまった。それでも何度かくり返すうちに、少しずつ上手にすくえるようになった。

そのあと、わくからやさしく水を切り、紙を重ねて乾かす作業を見学した。部屋の中には、ゆっくりと乾いていく紙のいいにおいがただよっていた。外では冬の冷たい風が吹いていたが、室内ははずかでも温かく、落ち着いた空気が流れていた。

できあがった紙を手にとると、少しざらざらしていて、光にすかすとやわらかい色が見えた。「これが昔からの紙なんだ」と思うと、アキラの胸はあたたかくなった。

帰り道、お父さんが

「こうして伝統を受けつぐ人がいるから、日本の文化は今も残っているんだ」

と話した。アキラはうなずきながら、「また作りに来たいな。今度はもっと上手にできるようにしよう」と心の中で思った。



(1) アキラは和紙づくりにおどろきました。それはなぜですか。文中の言葉を使って書きましよう。



(2) 職人さんが「この動きを何度もくり返す」と言った理由として正しい数字を1つ選びまるでかこみましょう。

- ① 水をきれいにするため
- ② 紙のもとを均一にするため
- ③ 色をつけるため

(3) アキラが「胸はあたたかくなった」と思ったのはなぜですか。本文の内容から、自分の言葉で20字以内で書きましよう。



(4) このお話の中心となる考えとしてもっともよいと思う番号を1つ選びまるでかこみましょう。

- ① 工場で紙を作るのは大変だということ
- ② 紙は光にすかすと色が見えるということ
- ③ 日本の伝統は受けつぎ、守っていくことが大切だということ

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

冬休みに、アキラはお父さんといっしょに町の「和紙づくり体験」に行くことになった。会場に入ると、大きな水そうと木のわくが並んでいた。

案内してくれた職人さんは、

「ここでは昔からの方法で和紙をつくっています」と話し始めた。アキラは、紙は工場で作るものだと思っていたので、おどろいた。

まず、木のわくを水そうに入れ、白いどろのような原料をすくいあげる。職人さんは

「この動きを何度もくり返すと、紙のもとが均(きん)一になるんだよ」と教えてくれた。アキラもやってみたが、力を入れすぎて水がはねてしまい、袖がぬれてしまった。それでも何度かくり返すうちに、少しずつ上手にすくえるようになった。

そのあと、わくからやさしく水を切り、紙を重ねて乾かす作業を見学した。部屋の中には、ゆっくりと乾いていく紙のいいにおいがただよっていた。外では冬の冷たい風が吹いていたが、室内はずかでも温かく、落ち着いた空気が流れていた。

できあがった紙を手にとると、少しざらざらしていて、光にすかすとやわらかい色が見えた。「これが昔からの紙なんだ」と思うと、アキラの胸はあたたかくなった。

帰り道、お父さんが

「こうして伝統を受けつぐ人がいるから、日本の文化は今も残っているんだ」と話した。アキラはうなずきながら、「また作りに来たいな。今度はもっと上手にできるようになろう」と心の中で思った。



(1) アキラは和紙づくりにおどろきました。それはなぜですか。文中の言葉を使って書きましよう。

紙は工場で作るものだと
思っていたから

(2) 職人さんが「この動きを何度もくり返す」と言った理由として正しい数字を1つ選びまるでかこみましょう。

- ① 水をきれいにするため
- ② 紙のもとを均一にするため
- ③ 色をつけるため

(3) アキラが「胸はあたたかくなった」と思ったのはなぜですか。本文の内容から、自分の言葉で20字以内で書きましよう。

解答例)
昔からの紙の美しさを
感じたから

(4) このお話の中心となる考えとしてもっともよいと思う番号を1つ選びまるでかこみましょう。

- ① 工場で紙を作るのは大変だということ
- ② 紙は光にすかすと色が見えるということ
- ③ 日本のは伝統は受けつぎ、守っていくことが大切だということ